

坂東太郎 利根川



PFI 佐原リバー株式会社
敷下 貴弘さん

筑紫次郎 筑後川



NPO法人 筑後川流域連携倶楽部
理事 平田 昌之さん

四国三郎 吉野川



NPO法人 美馬体験交流の会
理事長 北岡 武義さん



美馬市美来創生局観光課
逢坂 肇さん



徳島大学総合科学部教授・平井松午先生による講演。
「水害があるのが当たり前。それを前提として先人たちは防水対策を施し、かつ洪水による客土を利用した」というお話には驚かされました

思い返せば、三大河川の兄弟縁組結の日も吉野川は大荒れでした。土木技術が発達したとはいってもやはり三大暴れ川。先人に学び、川の兄弟達に学びながら、川とうまく共生していきたいですね。知恵に感銘を受けました。

シンポジウムの締めくくりは、平井松午先生に「吉野川・舞中島の藍作と竹林景観 く洪水との共生」と題してお話いただきました。吉野川の地形や歴史の分析から、舞中島の竹林は洪水で押し寄せた巨礫や土砂が流れ込むのを防ぐだけでなく、藍作に不可欠な細かな砂を取り込む濾過装置の役割を果たしてきたとか。洪水と共生するための先人の知恵に感銘を受けました。

池田ダム湖で、アジア初のWWAウエイクボード世界選手権大会が開催されます。開催準備に奔走するアジアウエイクボード協会会長の薄田克彦さんは、大会を契機にウオータースポーツを普及させ、ダム湖周辺を「水の体育館」として打ち出し、観光資源として開発していきたいと熱く語ってくれました。

二日目のツアーでは美馬の自然と食を満喫

シンポジウム2日目は恒例の現地ツアーです。まずは、大正時代の藍商の屋敷・青木家住宅でピアノ演奏とともに朝の清々しいひとときを。美しい竹林の繁る水辺の楽校中島川公園、伊射奈美神社、四国三郎の郷などを散策した後、閉校した重清北小学校の校舎を利用した「山人の里」へ移動し、自分たちで昼食作り。メニューは石窯ピザと流しそうめんです。さすが三河川のキーマン達、なんという手際の良さか！ 鉈やノコギリをふるい、吉野川の竹で流しそうめんの台やレール、器まであっという間にこしらえてしまいました。吉野川

交流推進会議の福永会長はお箸まで作って皆さんに配ってくれました。地元の素材と青竹の器でいただく昼食は最高でした。



↑国の登録有形文化財に指定された青木家住宅。入母屋造り、漆喰壁の重厚な屋敷です



←青空の下、流しそうめんスタート！もちろん半田そうめんです。笑顔と歓声がはじけました



第2部の締めくくりは、地元ボランティア・寺町案内人のガイドで寺町を散策。時間の関係で林照寺のみのガイドになってしまいましたが、いくつかの寺院が立ち並ぶ寺町の雰囲気になれることができました



三大河川シンポジウムに初の外国人参加者。国際ボランティアNGO・NICEのワークキャンプで徳島にやってきた若者たちです。新町川を守る会の花植えや川の清掃に参加しています